





審査結果報告書

平成 30 年 2 月 5 日

主 査 氏 名	馬 嶋 正 隆	
副 査 氏 名	三 坂 信	
副 査 氏 名	小 泉 和 郎	
副 査 氏 名	岩 村 正 嗣	

1. 申請者氏名 : DM14014 田中 俊道

2. 論文テーマ :

Effect of Preoperative Nutritional Status on Surgical Site Infection in Colorectal Cancer Resection

(大腸癌における Surgical site infection のリスク因子予測)

3. 論文審査結果 :

大腸がんの術後合併症はしばしば重篤化し生命の危機となることもある。術後合併症の中で頻度、重要性の高いものは手術部位感染 (SSI) である。申請者は、北里大学病院で結腸および直腸切除術を施行された症例を検討し、SSI 予防に有用な SSI リスク因子の検討を行った。多変量解析によって、血中アルブミン値低値、Body Mass Index (BMI) 高値が SSI の発生に重要であることが判明し、術前の栄養状態、BMI の値がリスク要因として重要なこと、病巣が結腸よりも直腸である場合が SSI のリスク増大に関わることを明らかにした。公開審査では、申請者から論文内容につき約 20 分にわたり発表があり、申請者は、主査および副査からの質問につき適切に答えることができた。質問内容の主な点は、血中アルブミン値低値が SSI 発症を高める機序、retrospective 検討となった理由、BMI を低くしてから手術することの臨床的意義、腸管洗浄の SSI 予防上の意義、SSI に対する治療方策、直腸病変の場合の予後が不良となる理由などであった。主査および副査は、学位論文の内容の質の高さ、質疑応答の的確さから、医学博士の学位に相応しいと判断した。